

(株)アグリが韓国企業と共同

バイオマス発電事業を計画

(株)伊万里グリーンパワー



(株)アグリ・坂本社長(右)と(株)ウェルクロンハンテック・李社長(左)は塚部芳和伊万里市長(中央)と進出協定を行った。

(株)アグリ(佐賀市、坂本徹哉社長)はこのほど、バイオマス発電事業を計画するにあたり韓国のエネルギー関連大手のプラント建設

(株)ウェルクロンハンテック(韓国、李榮珪社長)と共同で(株)伊万里グリーンパワーを設立した。総事業費200億円

を投じ伊万里市七ツ島に造成された工業団地内にバイオマス発電所を建設し、生産される電力を九州電力(株)に販売することで収益を創出する。九州地域への電力供給に寄与するとともに佐賀県の経済活性化および雇用促進を目的としている。

4万6000キロワットで年間発電量は約10万世帯分の電気を補う。坂本社長は「15年程太陽光発電事業を行ってきた。低圧から高圧までエネルギー関連の仕事をしてきたが、パームヤシ殻は燃焼効率も高く安定的。燃料となるヤシ殻は油を搾った後の廃棄物の資源化にも役立つ。佐賀県はももちろん九州の住民の皆さんの役に立てば」とコメントした。



発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,940円(税込)
毎週火・木・土曜日発行
日本専門新聞協会会員